

平成29年度 施策評価シート

[施策No.] 施策名		[9] 観光に関する情報の収集と分析			主管	文化産業観光部 観光課
施策の概要	長期総合計画体系	[将来像] I にぎわいと活力のまち [基本目標] I-2. まちの魅力の創出 [小柱] (1) 観光資源の再発見と活用の推進				
	10年後のめざす姿	● 多様な媒体と手法を活用して情報収集を行い、観光客の動向を的確に把握し、ニーズを捉えた観光施策を展開していきます。				
	主な取り組み	①	観光客の動向と受入施設の現況調査	⑥		
		②	多様な手法を活用した観光客のニーズ調査	⑦		
		③		⑧		
		④		⑨		
⑤			⑩			
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		観光に関する情報収集・分析手法	1種類 (観光統計・マーケティング調査)	増加	—	1種類 (観光統計・マーケティング調査)
		区が発信する観光情報に対する満足度	—	80%	—	76%
評価結果	B	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
	A 順調である B 一部課題がある C 課題がある	<p>平成28年度の観光統計・マーケティング調査で、新たに「区が発信する観光情報に対する満足度」を調査した結果、満足度は76%と目標の80%に近い満足度が得られている。</p> <p>観光に関する情報収集・分析手法について、平成28年度に実施した観光統計・マーケティング調査において、従来の調査項目に加えて台東区の観光資源に対する認知度と興味度を調査した。また、新たに平成27年度から実施しているSNS等による情報分析では、インターネット上に蓄積するロコミキワードを抽出・分析するなど、新たな媒体と手法を活用した情報収集を行っている。</p> <p>現行のSNS等の情報分析手法では、情報の内容から台東区の評価を分析することが難しいケースがあり、今後はさらなる向上に向けて、台東区の観光に関してよりの確な評価・分析が行える情報収集・分析手法を研究し、充実を図る必要がある。</p>				
学識経験者からの意見		<p>観光政策の基礎データであり、今後も継続的に実施する必要がある。継続性の原則があるので調査内容の大幅な修正は困難であるが、精度を高める努力は絶えず求められる。このような一次データだけでなく、台東区あるいは都・国の二次データも定期的に収集し、データベースとして整備すべきである。</p> <p>書面によるアンケート調査は、観光客の動向を把握することは可能であるが、そこから観光ニーズを抽出することは困難である。定性的データの収集を行うための方法・手法を確立することが必要である。</p>				

施策を構成する行政計画事業の進捗									
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)	
1	(31)観光統計・マーケティング調査の実施	観光課	調査 実施	実施	目標	—	実施	—	
					実績	—	実施	—	
						目標			
						実績			
						目標			
						実績			
2	(32)SNS等による情報分析・活用	観光課	—	SNS等による情報分析・ 活用 実施	目標	実施	実施	実施	
					実績	実施	実施	実施	
						目標			
						実績			
						目標			
						実績			
3					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
4					目標				
					実績				
					目標				
					実績				
					目標				
					実績				